

# 私学ぐんま

35号  
2024



パリ2024オリンピック レスリング女子2階級制覇！

目次

● 理事長ご挨拶..... 2	● 特色ある私学教育..... 3
群馬県私学振興会 理事長 野口 秀樹	● 私学教育～私の思い～..... 4～5
● TOPICS..... 2	● でーた いま..... 6
私学振興講演会	● 私の薦めるこの一冊..... 7
私学経営研究会	● 表彰受賞者..... 8
私立大学スポーツ大会	● コラム..... 8
海外研修報告	● 編集後記..... 8

# 理事長ご挨拶



公益財団法人群馬県私学振興会 理事長 **野口 秀樹**

群馬県私学振興会では、本年度も皆様のご理解とご協力により、退職手当資金等給付事業、融資あっせん事業のほか、8月にはリクルート進学総研の小林所長をお迎えし、「少子化時代を踏まえた今後の私学教育」をテーマに講演会を開催いたしました。

また、10月には、昨年度に引き続き、教職員海外研修事業（台湾4日間）を企画しましたところ、会員校から10名の参加をいただき、無事に実施することができました。

今後とも、私立学校の振興、発展に寄与できるよう、皆様方のご支援ご協力のもと、役職員一同一丸となって取り組んで参りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

## TOPICS

### 私学振興講演会

8月27日、リクルート進学総研所長小林浩氏をお招きして、「少子化時代を踏まえた今後の私学教育について」と題して、講演会を開催しました。学校を取り巻く環境の変化や、今後の社会に求められる資質能力、学校教育を通じて求められているものなど、大変参考になるお話をお聞きすることができました。



### 私学経営研究会

9月19日、中央カレッジグループ所属で次期冬季オリンピック・スキーマの強化指定選手の上田絢加さんをガイドにお迎えし、「群馬県の魅力を再認識する」をテーマに、赤城山（地蔵岳・長七郎山）登山を実施しました。当日は、朝から雨模様で、山頂の天候を心配しましたが、山頂からは関東平野を見渡すことができました。



### 私立大学スポーツ大会

10月12日、13日、スポーツの秋らしい爽やかな青空の下、屋内・屋外6競技に約800名の学生の参加をいただき、大学対抗のスポーツ大会が開催されました。桐生大学を主管校に、各競技の責任校や関係者の協力の下、各競技会場で、白熱した試合が展開されるとともに、学生たちが交流を深める良い機会となりました。



### 海外研修報告

団長 桐生大学附属中学校 校長 神子澤修

10月15日から18日までの4日間、私学振興会主催の海外研修が実施され10名で参加させていただきました。今年度は、親日国である中華民国（台湾）の教育事情を視察して参りました。

視察校は3校で、大学、専門学校、中高一貫校でした。お忙しい中、どの学校も校長先生を始め多くのスタッフで対応をしてくださりました。視察校の先生方の「熱い」説明をお聞きし、私たち研修団のメンバーも大いに刺激を受けることができました。今回の「海外研修」で得られた知見を、自校の学校運営に活かしていくのはもちろんのこと群馬県の私学の発展のためにも役立てていきたいと思いました。

結びに、このような「海外研修」の機会を与えていただきました私学振興会をはじめ、関係の皆様にご心から感謝申し上げます。



## 山で共に生きる



白根開善学校

学園長 金平敏裕

白根開善学校は、1978年に群馬県中之条町入山地区(旧六合村入山小倉)に全日制普通科として開校しました。標高約1200メートルの山奥にある全寮制の小さな学校です。

白根開善学校の教育は「人はみな善くなろうとしている」という教育理念によって貫かれています。入学は一週間の体験入学を通して決まります。成績の良し悪しではなく、厳しい山の環境の中に身を投じる覚悟と「この山の学校に入学したい」という強い意思が必要となります。

私たち教師の仕事は、この子供たちの意欲に対する良き援助者となり、子供たちの善さを発見して伝えてあげ、辛抱強く見守り続けることです。そのためには力量を絶えず培わなければなりません。山の学校で生き抜く決心をした子供たちと共に学ぶことを決意した教師たちは、お互いに切磋琢磨していきます。それが、白根開善学校なのです。だから、この学校では、肩ひじを張って子供に教え込もうとする教育にはなじまないし、その必要がないのです。

子供たちの人数に比べると関わる教職員の数が多い環境下で、少人数教育を実践しています。日本の教育を眺めていると、とても贅沢な条件ということになります。しかし、先生たちと子供たちの関係は、他の学

校とは質的に違います。寝食を共にした生活では、互いが文句なしに信じあえる心の持ち主となってこそ、値打ちがある学校生活ということになります。一見不自由な教育条件の中にあっても、子供たちが生き生きと育っていった事実を見ればそれがわかります。

保護者の方々も変化してきます。子育てにおいて、これまでの悩みや不安をもっていた保護者は、「子供たちも教師たちもよく生きようとしているのだから、私たちもそうでなければならない」と思い始めるのです。三者一体となって共に善さを育むのだから、開善学校の教育の未来は希望に満ちたものであると考えています。

まだまだ私たち教師の専門家としての能力は未熟です。しかし、子供たちを善くしたいという気持ちでは、人後に落ちないと自負しています。だから、諦めなどという言葉は無用ということになります。

迷いに迷った末に、山にたどり着いた子供たちが、とにもかくにも善く生きる道を発見し、やがて山を下りていく。そして、いつの日か、恋人や伴侶と我が子連れ、この山奥まで訪れてくれる。成長した子供たちの姿を見たとき、教師としての職業を選んだ幸せをしみじみと感じる時であります。



# 100分の2の『おもい』

高崎商科大学短期大学部 現代ビジネス学科 学科長 中村 雅典



短期大学の2年間という教育期間は、学生にとっても教職員にとっても特別な時間です。20数年間短大教育に従事してきましたが、その中で感じたのは、この2年間が学生の人生に与える影響の大きさです。人生100年時代の2年という短い時間ですが、この時間軸の中で、自ら考え行動し、多くのことを吸収して自分の力で立ち立っていきます。自己を見つめ直し、将来の方向性を見定める時間であるため、「100分の2」の教育を受け持つ我々の責任は数字では表現できない相当な重みを占めていると感じています。

短大教育の魅力は、その濃密さにあります。限られた時間の中でアカデミック面の勉強だけでなく、さまざまな課外プロジェクトやインターンシップを通じて、社会で必要とされる知識やスキル、マナーや常識といった社会人としての知恵を身につけていきます。我々にとっても、学生個々の伸びしろをどれだけ大きく、そして多方面に伸ばすかが勝負どころです。そのため、時には厳しくもなりますが、

学生一人ひとりに対し深い関わりを持ち、成長を下支えしながら、その可能性を広げられるよう日々接しています。困難に直面することもあります。それを乗り越えることで学生たちは一層成長していきます。その成長を見られることが何よりの喜びだからです。

「2年間で築かれた絆や経験は一生ものです。」再会する卒業生から、本学での2年間が大きな転機となったと耳にするたびに、私たち教職員の想いが実を結んだことを実感します。その貴重な時間を共に過ごせることに感謝し、これからも学生たちの未来を支えるために全力を尽くしていきます。



特  
私学  
～私の

## 障害児のためのインクルーシブ教育を

学校法人つくし学園 のびのびこども園 理事長 須田 勝代



当園が積極的に障害をもつ幼児を受け入れるようになったのは平成20年です。現在では特別支援学級も設け、私的契約の心理士の訪問支援を月に一度受けつつ、特別支援教育の質の向上に努めています。

その中で度々保護者の強い思いを感じることがあります。重い障害があっても定型発達の子もたちと過ごさせたい、できれば定型発達の学級に在籍させて欲しいと。障害といっても様々な状態があり、支援の方法も多岐にわたります。実は私の長男も重度の知的障害があるので幼児期に保護者がそう願う気持ちは痛いほどわかりますが、16年間障害児の保育・教育に取り組んできて、全ての該当の幼児にとってただ定型児の集団にいたることが成長の助けになるわけではないことが実感されるようになってきました。

障害のある子どもにとっては、整理され構造化された刺激の少ない環境の方が過ごしやすく、学びの効果が上がる

ことも多いです。また、保育者がいくら一緒に過ごさせたいと場を用意しても、重度の子どもにとって負担が大きいこともあります。一律に一緒にするより、多様な学び・生活の場があり柔軟に行き来することができてこそ、教育の効果が上がるのではないかと思います。それに対応できる保育者や周りの幼児の理解を時間をかけて育てることも必要でしょう。

障害者の権利という理念や保護者の願いだけで拙速にインクルーシブ教育を進めることで、一番不利益を受けるのは当の障害児ではないでしょうか。第3期群馬県特別支援教育推進計画で玉村町の小学校をインクルーシブ校として指定して実践を進めるとの報道がありました。理念先行にならず、障害のある子どももいない子どもも一人ひとりのニーズが満たされる場であることを願います。また、どの学び・生活の場が児童にとって最適であるか、幼い時期からの切れ目ない相談体制の充実も望まれるところです。



それ、野村にきいてみよう。  
**野村証券**

MUFG 三菱UFJモルガン・スタンレー証券

# 熱く「夢を語り」、力強く「夢実現の一步」を

常磐高等学校 校長 塚越 貴之



あなたの「夢」は何ですか、と生徒たちによく質問します。「夢」のないところには、「目標」は現れず、「目標」のないところには、「意欲」は湧かないと、生徒たちに常々話してきました。まずは「夢」を持ち、その「夢」を具体的な「目標」に育て、実現できる強い精神力と実行力を身につけさせたいと考えています。

私立学校の最大の特徴は、教育の多様性の中で、個々の生徒のニーズに応じた教育を実現する場を提供することだと思います。従って、本校では、単に知識を伝えるだけでなく、生徒一人ひとりの成長を支援し、彼らの可能性を最大限に引き出すことを目指し、教育方針の柱の一つに、「生徒の夢の実現」を掲げています。教員も、生徒一人ひとりを大切に、生徒に寄り添ったきめ細やかな教育活動を実践するように心掛けています。

「夢」は、自然に現れるものではなく、自らの感動の積み重ねによって持つことができます。本校で多くの感動を体験することにより「夢」を持ち、

その「夢」を友と熱く語りあうことが重要だと思っています。生徒たちが、自信を持って「夢」を語ることにより、その「夢」は少しずつ近づき、実現していくものだと信じています。

そして、大切なことは、その目標に自らを導くまでのプロセスにあります。「どうすれば目標を達成できるのか。」その問いと実践の繰り返しが、たくましく生きる知恵となって、やがてはその先の長い人生を豊かにする力となるはずです。



集  
教育  
思い～

## 高崎情報ITクリエイター専門学校開校にあたり

高崎情報ITクリエイター専門学校 校長 古堀 照久



2024年4月に、「高崎情報ITクリエイター専門学校」を開校いたしました。この開校により、私ども大原学園では、既設されていた「大原ビジネス公務員専門学校高崎校」「大原スポーツ公務員専門学校高崎校」に加え3校を運営しております。より一層、教育を通して群馬県、

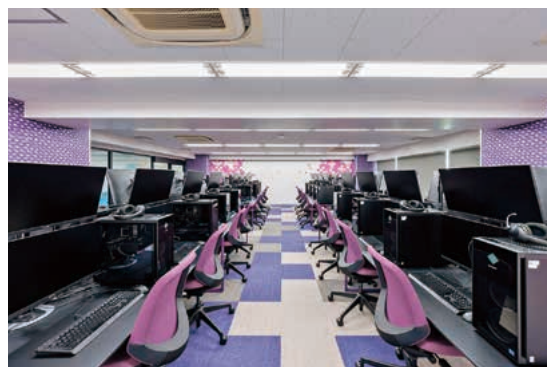
高崎市の発展に寄与して参りたいと考えております。

現在、デジタル人材不足が叫ばれておりますが、そのデジタル人材の7割がIT企業に偏在していると言われております。今後は、IT企業だけでなく、どのような業界、職種においてもIT知識、ITリテラシーは必須であり、その人材育成機関の必要性は高まると考えております。

また、国内のIT事業者の多くは東京圏に集中していると言われておりますが、将来的には地方、とりわけ都心へのアクセスの良い群馬県にはIT事業者が更に増えていくと予想しております。このような背景から、地元群馬県でデジタル人材を育成し、地元へ就職し、地元へ貢献していくよ

うなフローが出来ればと考えています。

諸説ありますが、2030年～2045年ごろに、AIが人間の知能を越す「シンギュラリティ」が到来すると言われております。そのような時代に先駆け、知識や技術を教えることは大前提ですが、AIよりも人間の方が得意とされる、クリエイティブ・コミュニケーション・ホスピタリティの能力も同時に育成し、社会に有意な人材育成をして参りたいと考えています。



MIZUHO みずほ証券

大和証券  
Daiwa Securities

## 令和5年度 決算の状況

### ●貸借対照表

単位：百万円

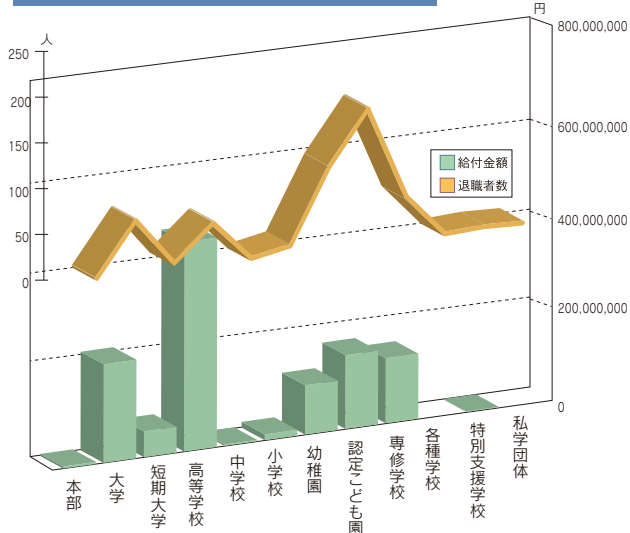
資産の部	金額	負債の部	金額
流動資産	360	流動負債	343
固定資産	8,710	固定負債	8,432
基本財産	240	長期借入金	349
特定資産	8,469	退職手当資金等給付準備金	7,565
私学振興債引当資産	349	みなし退職金預り金	518
退職手当資金等給付資産	7,602	正味財産の部	金額
みなし退職金預り資産	518	指定正味財産	224
その他固定資産	1	一般正味財産	71
資産合計	9,070	負債＋正味財産計	9,070

### ●正味財産増減計算書

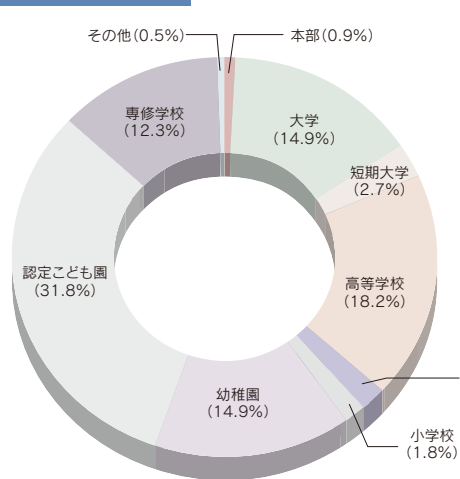
単位：百万円

経常収益	金額	経常費用	金額
基本財産運用益	2	事業費	1,393
特定資産運用益	130	退職手当資金等給付金	1,075
受取会費等	9	退職手当資金等給付準備金繰入	287
会員出資金	1,036	その他事業費	31
県補助金	217	管理費	5
その他収益	5	経常費用計(B)	1,398
経常収益計(A)	1,399	当期経常増減額(A)-(B)	1

### 学種別退職者数と退職金資金給付額



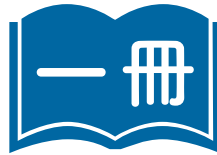
### 学種別登録教職員数



### 令和5年度 学種別会員学校教職員数・退職手当資金給付状況

学種	学校数	教職員数	退職者	給付金額
本部	(11)(本部除く)	34	5	4,254,746
大学	7	574	64	199,476,625
短期大学	6	102	10	52,380,321
高等学校	13	699	49	423,527,887
中学校	6	75	3	3,015,711
小学校	2	70	11	11,782,029
幼稚園	47	572	94	99,655,666
認定こども園 (新制度/社福立を含む)	66	1,223	153	149,198,652
専修学校	46	472	48	131,420,563
各種学校	3	0	-	-
特別支援学校	1	13	2	1,004,400
私学団体	4	6	0	0
合計	201	3,840	439	1,075,716,600

# 私の薦めるこの



本を読むと脳が活性化するそうです！  
どうぞお役立てくださいませ。

## 傲慢と善良

／辻村深月(著)

朝日新聞出版



共愛学園前橋国際大学  
副学長(比較文学) 西川 正也



映画化もされたので、タイトルをご存知の方も多  
いだろう。婚活の裏側を知ることができるだけでなく、  
誰もが「傲慢」と「善良」の両面を隠していることが、  
読み進むにつれ明らかになってくる。また作品の舞台  
が前橋であることも付記しておきたい。

## 人間はどこまで家畜か 現代人の精神構造

／熊代亨(著)

早川書房



前橋育英高等学校  
校長 二渡 諭司



学校では、順応性が高く穏やかで協力的な生徒が増  
えている一方で、心を病み不適応を起こす生徒が増え  
ているように感じています。この本は、このような現  
状と不安が募る未来について、人間の「家畜化」とい  
う観点から深く考えさせてくれる一冊です。

## 子どもの発達相談 一園と家庭の連携のために

／柴崎正行(著)

フレーベル館



藤岡幼稚園  
園長 山田 章善



この一冊は、私にとって幼児教育の大事な教科書です。  
日々の保育の中で迷ったり悩んだりしたときに、子ども  
の心の中をそっと覗かせてくれます。「子どもにとって、  
子どものために、子どものせいにはいけない」いざ  
現場に立つと全てが教科書通りとは行きませんが、私な  
りにバランスを保ちながら幼児教育を探究しております。

## 簿記教科書

／沼田嘉穂(著)

同文館

### 簿記教科書

※著作権法保護の観点から  
推薦本の掲載を見送って  
おります。

学校法人藤仁館学園  
理事長 佐藤 律夫



著者は「広く外国の簿記教科書を参照するとともに、我が  
国の現下の経理実務をも顧み、ここに私の力の及ぶ限りにお  
いて新時代の簿記教科書を上梓した」と記している。説明は  
明解で過去の学説切り込み過ちは躊躇なく訂正、必要ないも  
のはパッタパッタと切り捨てる。私の本に対する概念を根本  
から覆し、「私の仕事観・人生観さえも変えた一冊」です。

# 表彰受賞者 受賞おめでとうございます

## 紫綬褒章

パリ2024オリンピック内閣総理大臣感謝状  
文部科学大臣顕彰（オリンピック競技大会優秀者）  
群馬県スポーツ特別栄誉賞

櫻井つぐみ（育英大学 教育学部 助手）  
元木 咲良（育英大学 教育学部 助手）

## 文部科学大臣顕彰（スポーツ功労者）

群馬県スポーツ功労賞  
柳川 美磨（育英大学 教育学部長（教授））

## 文部科学大臣顕彰（スポーツ功労者）

松本隆太郎（育英大学 教育学部 講師）

## 厚生労働大臣表彰（栄養関係功労者）

木村 祐美（共愛学園前橋国際大学短期大学部 教授）

## 県功労者表彰

大川 義（共愛学園学園長 小学校校長）

## 永年勤続者顕彰

布瀬川史子（共愛学園高等学校 教諭）  
藤木 敦志（共愛学園高等学校 事務長）  
深澤 準一（前橋育英高等学校 教諭）  
中沢 洋一（前橋育英高等学校 教諭）  
村井田 明（東京農業大学第二高等学校 教諭）  
近江 和央（桐生第一高等学校 事務主任）  
清塚恵美子（桐生大学附属中学校 教諭）  
高草木裕子（樹徳高等学校 教諭）  
廣井 勉（樹徳高等学校 教諭）  
高橋 礼子（常磐高等学校 教諭）  
永井 均（新島学園中学校・高等学校 教諭）  
齊藤 賢司（新島学園中学校・高等学校 教諭）  
中村 信勝（新島学園中学校・高等学校 教諭）  
瀬戸 裕（明和県央高等学校 主幹教諭）

ショート  
コラム

## 読書から自己 を見つめる



冬の読書は特別に楽しいものです。暖かい部屋で未読の書、または何度も読んだ書を手にも、ページをめくる時間は贅沢に感じられます。また、冬の静かな夜に心地よいブランケットに包まれて読書に没頭するのは、至福の一時と言えるでしょう。矛盾するようですが、寒い夜にかじかむ手を温めながら集中して読むのも精神が研ぎ澄まされ、冬ならではの読書の醍醐味と言えるでしょう。

どの本を読むかはその人に任されますし、そうでなくてはなりません。なぜなら自分で読みたいと思う書籍でなければ、読書の楽しみを実感することが叶いません。

一人の時間を確保し読書を通して自己を見つめ直すのも、年末年始のいい時間の過ごし方ではないでしょうか。（鈴木 利定）

## 編集 後記

猛暑だったことをすっかり忘れてしまう程季節は変わっています。今年の夏は、パリで行われたオリンピック・パラリンピックから大きな感動を貰いました。女子レスリングでは地元の選手が2名も金メダリストになりました。嬉しいだけでなく、何となく誇らしくもあります。

さらに、MLBの大谷選手の活躍は毎朝の元気の元になっています。ワールドシリーズ制覇も実現し感動しました。

スポーツ観戦ばかりで実際に体を動かしていないことに気づきました。

少しでもいいから体を動かして健康診断の数値を改善したいと思っています。（蜂須賀和夫）

公益財団法人 群馬県私学振興会

理事長 野口秀樹

広報委員会

鈴木利定・中島高久・蜂須賀和夫・小倉基宏

〒371-0854

前橋市大渡町1丁目10番7号

群馬県公社総合ビル6階 私学センター内

TEL 027(255)6851（振興事業）

027(280)6207（退職事業）

FAX 027(280)6208

URL

<http://www.shigaku-gunma.or.jp>



令和6年12月発行